

令和6年度学校教育自己診断分析結果

○全体的な内容

本校では、泉大津高校の『ねがい』＝「どんな社会でも揺るがない土台「心幹」を持ち、他者とコミュニケーションをとりながら、自分の人生を、社会を豊かにできる一人前になろう」に基づき、すべての教育活動を実践している。「学校は、「泉大津高校の『ねがい』」に向かう教育活動を行っている。」の質問項目においては、保護者の肯定的な回答は80%と高評価であったが、生徒は72%に留まっている。生徒の肯定的な回答はR3年度より少しずつ向上しているため、今後も「泉大津高校の『ねがい』」を広く周知し、継続的に教育活動を行っていくことで、より一層充実した教育活動が展開することができると考えている。

生徒の「学校は探究や学校行事、ボランティアなどを通して、地域と交流している」が昨年度58%であったのが、70%と飛躍的に伸びた。泉大津市と連携した総合探究や泉大津警察と連携した様々な取り組み、さらに泉大津市のイベントのボランティアへの参加等、生徒が実感できるかたちで泉大津市との連携が実現できているためだと考えられる。来年度はDXルームを使った「地域探究」で地域の高齢者の方たちとの交流を計画しており、探究活動を通じて地域が抱える課題とその解決方法を考えいく予定である。

「生徒会活動は活発だと思う」の質問項目において、昨年度は59%であったのが、今年度は肯定的な意見が81%と大きく伸びた。これは、今年度の生徒会執行部が目標を決めて、その達成のために遅刻件数の減少やごみが落ちていない学校をめざした運動を全校生徒に周知し、活発に行ったことが要因であると考えられる。今後も生徒会執行部を中心に、全校生徒が自主的に、かつ協力して行う取り組みをサポートしていきたい。

「学校のホームページ、SNSをよく見る」という項目の肯定的な回答が、昨年度の生徒・保護者ともに20%台であったのが、今年度46%となった。9月から公式Instagramを開設したことが要因と思われる。今後も保護者に学校での様々な活動の様子を見てもらい、外部の方には泉大津高校の雰囲気や生徒の活動の様子を知ってもらうために更新をしていく。

○各分掌より () 内の番号は質問番号を示しています。

【教務部】

生徒(4)「自分が学びたい科目を選択することができる。」

⇒ 生徒のニーズに合った科目の設定ができており、希望に沿った選択ができるようになっている。

生徒(5)「情報機器の利用や実験・実習など、体験的な授業が充実している。」

⇒ 授業は講義形式の授業だけでなく、様々な工夫がなされている。

生徒(6)「学校は、1人1台端末を効果的に活用している」

⇒ 普段の授業や総合探究などで活用する機会が増え、課題の提出やテスト返却、グループワークやプレゼン資料の作成等にも活用されている。

生徒(8)「評価の仕方や基準が事前に示されており、評価について納得できる。」

⇒ 評価については、教員から生徒へと丁寧な共有ができています。

生徒(9)「(参加したことがある人のみ) 授業以外の講習は満足できる。」

⇒ 夏期講習においては多様な講座を開講しているため、生徒のニーズに合致していると考えられる。

【生徒指導部】

保護者(13)「学校は、子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。」

⇒ 日々の声掛けが生徒を通して保護者の方にも伝わっていると考えられる。

生徒(14)「学校生活についての先生の指導には納得できる。」

⇒ 頭髪指導の基準の緩和、指導の場における丁寧な対話が生徒の納得に繋がっていると考えられる。

【生徒会指導部】

生徒(21)「体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。」

⇒ 悪天候によるプログラムの変更や応援団に対する指導に理解が得られず、数値が下がったと考えられる。
天候不順への対応や丁寧な事前指導を心がけていきたい。

生徒(23)「生徒会活動は活発だと思う。」

⇒ 生徒会執行部が主導となった活動が周囲を巻き込んだかたちとなり、数値が上がったと考えられる。

生徒(24)「部活動は活発だと思う。」

⇒ 部活動加入率と相関があるように思われるが、実際は大会等で成果を上げる者もたくさんいる。部活動加入率増加とともに、部活動に励む生徒が活躍できる取り組みを考えたい。

【進路指導部】

生徒(15)「学校は、進路についての情報を知らせてくれる。」

保護者(11)「学校は進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている」

⇒ 進路の情報提供について、生徒は 86%、保護者は 73%となっている。生徒には進路 HR や担任から進路情報を直接伝える機会が多いため行き届いているようだが、一部保護者には伝わりにくい面もあり、進路行事のお知らせは、適宜メール等を活用し、周知していく必要があると感じられる。また、進路情報を得る手段が紙媒体からネット検索へと移ってきていることもあるが、本校卒業生による貴重な入試体験情報などは有効に活用する必要がある。

生徒(16)「将来の進路や生き方について考える機会がある。」

⇒ 将来の生き方や進路について考える機会は上昇して 89%を超えた。3年間の様々な進路行事を通して、多くの生徒が進路に向き合うきっかけとなっており、引き続きこの水準を維持できるような工夫が必要である。

【保健総務部】

生徒(28)「学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。」

⇒ 泉大津消防署の協力もあり、年に 2 回の避難訓練等を実施していることで、生徒へ浸透していると考えられる。

保護者(18)「PTA 活動に参加することがある。」

⇒ 緩やかに増加している。学校行事や社会見学会等に参加していただいた保護者からからは好評をいただいているが、まだまだ PTA の活動への理解が保護者全体には浸透していないと思われる。公式インスタグラム等でも PTA 活動について発信していく。